

# 第三回「中国人の日本語作文コンクール」募集要項

最優秀賞受賞者に**日本一週間招待**

応募資格 **日本留学経験のない全ての中国人**

## ● [テーマ] (自由に一つを選ぶ)

### 一、「日中相互理解を深めるにはどうしたらいいか」

日本語学習、日本文化・日本人との触れ合い、日々の生活などを通して感じた、日中相互理解を深めるためのいろいろな提案や日本政府・日本人・日本企業に言いたいこと、中国と中国人の立場や生活などについて知ってもらいたいこと、など

### 二、「日中環境保護協力について思うこと」

日中環境保護協力について、中国の環境改善、中国人の環境意識向上に向けての日本の貢献、日本企業と日本人の活躍などの報告、またはこれからの日本の役割、日本への期待、日中関係改善における環境保護協力の意義・役割など。

## ● [応募資格]

**日本留学経験のない全ての中国人** (学生の部と社会人の部)

学生の部は、小・中・高・大学生及び院生、日本語学校学生などの方々を含む、学生以外の方は社会人の部に応募してください。

## ● [体裁・字数]

手書き・B5かA4サイズ400字詰の原稿用紙4枚(厳守・横書き)

規定の応募用紙(ダウンロード可能)に、氏名、住所、電話番号、メールアドレス、所属(学校名・会社名等)および略歴など必要事項を記して、応募作文と一緒に送ってください。応募作品は返却いたしません、ご了承ください。入賞しても連絡が取れない場合には、入賞が取り消される場合もあります。

## ● [受付開始・締め切り日]

2007年6月1日から受付。締切は6月30日(土)必着

## ● [作文の送り先]

100101 北京市朝陽区北四環東路115号三空間3-410  
日本僑報社中国事務所準備室 電話:010-5129-2959

E-mail:51292959@163.com(担当:周冬霖先生)

### 主催者の連絡先

東京都豊島区西池袋3-17-15 日本僑報社内日中交流研究所  
TEL03-5956-2808 FAX5956-2809 <http://duan.jp> [duan@duan.jp](mailto:duan@duan.jp)

## ● [審査方法]

審査は、学生の部と社会人の部に分けて行い、「語彙・文章=50点」、「内容=50点」を基準とした点数制とします。第一次審査にて日本僑報社の日本人編集者が入

賞作文を選定し、さらにこの入賞作文の中から、最終審査委員(名簿はHPに掲載)が各受賞作を決定します。

## ● [賞]

最優秀賞 各1人(賞状+日本一週間招待)

一等賞各 3人(賞状+5万円相当の賞品)

二等賞各 10人(賞状+3万円相当の賞品)

三等賞各 20人(賞状+1万円相当の賞品)

佳作賞各 30人(賞状+3千円相当の賞品)

入賞された三等賞以上の作文は日本僑報社より単行本として2007年12月に刊行するほか、日本の媒体に掲載することもあります(その場合、著作権は日本僑報社に帰すことをご了承ください)。佳作賞受賞者のご芳名を受賞作品集に収録します。

初めて「社会人の部」を設けますので、その応募状況によって、賞の数を変更することもあります。

## ● [発表と表彰式]

応募者に書面(メールと郵送)でお知らせると同時に、ブログ「段躍中日報」、メールマガジン「日本僑報電子週刊」と印刷版「日本僑報」などに掲載するほか、日中両国のマスコミにも発信します。表彰式は12月頃、中国国内で行います。

## ■ [主催]

日中交流研究所(所長:段躍中・日本僑報社編集長)

## ■ [特別協賛]

日本財団(2006年実績)

## ■ [協賛]

CASIO 全日空(2006年実績)

## ■ [協力]

中国日語教学研究会、中国留学生交流支援立志会、日中友好読書会

## ■ [後援]

在中国日本大使館、人民日報社人民網、(財)日中友好会館、日中文化交流協会、日中友好議員連盟、(社)日中友好協会、(社)日中協会、日本国際貿易促進協会、日中経済協会(2006年実績)、中国中日関係史学会、(財)日本中国国際教育交流協会

第一回と第二回の開催状況は以下のページに掲載しています、ぜひご参考下さい。

第一回受賞作品集『日中友好への提言』

第二回受賞作品集『壁を取り除きたい』

<http://duan.jp/jp/index.htm>